

# 5年後の夢

鹿児島復活教会

司 祭  
発表者

中島省三  
藤田啓子

安永千穂子

# 鹿児島復活教会の5年後の夢

- 2016年5月6日の教会委員会にて決定
  1. 信仰を継承する教会
  2. 愛餐が楽しい教会
  3. 高齢者が元気な教会

みなさんに「5年後の夢」の趣旨を説明しアンケートをとり、16項目余り提出された中で、  
●実行可能な内容 ●具体的な計画がたてられること などを考慮し、上記3項目となった

# 鹿児島復活教会の沿革

## 1. 信徒数

	2012年 12月	2013年 12月	2014年 12月	2015年 12月	2016年 12月	2017年 3月
信徒数				142	143	
堅信 受領者				80	81	
受洗者					3	0
堅信者					3	0
聖餐式 平均 出席者			35	33	27	
逝去者					2	1

# 鹿児島復活教会の沿革

## 2. 年齢別・住所地別

	鹿児島 市内	県内 他市	県外	計
～12歳				
成人～60代				
70～80代				
90代以上				
計				

# 鹿児島復活教会の沿革

## 3. 療養中の信徒(2017年3月現在)

	70~80代	90代以上	計
自宅療養中	4	2	
施設・病院			
計			

# 鹿児島復活教会の沿革

## 4. 地域別信徒数

県内 県外	鹿児島 県内	宮崎県	福岡県	兵庫県	東京都
		1	3	1	1

県外	鹿児島 市	伊佐市	いちき 串木野 市	始良 市	鹿屋 市	さつ ま町	薩摩 川内市
		4	3	12	3	1	5

# 5年後の夢

## 1. 信仰の継承

### I. まず身近な家族・兄弟姉妹・親戚に話をする

①堅信を受けていてもあまり教会に来ない家族

②堅信を受けていない家族

③友人・近所の人 ... 教会行事時声を掛ける バザー

### I. アルファコース実施

### II. 教会を訪ねてくる人

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
身近な人	1名	1名			1名
アルファコース			3名		
来訪者			1名	1名	

感想 1)身内には柵(しがらみ)があってなかなか言えない。真剣に話し合えない。

2)無理して受洗した場合、後教会に来ない場合が多い

# 5年後の夢

## 2. 愛餐が楽しい教会

愛餐を行っている日	①聖餐式の日 ②特別行事の日 (お正月・クリスマス・イースター・敬老の日・信徒総会・鹿屋恵生教会に行く時はお弁当にして車中で食べる)
食事を作る人たち	・ 1年間の担当者を決める ・ 担当者が一覧表を回覧して自主的に申し出記入する 年1~2回・男性組もいる ・ 常時奉仕する人は6名
食事代	2015年まで200円 2016年以降300円
会計	教会から3万円(2017年から4万円) 別会計にしているが不足気味

- 感想 1)ほとんどの人が喜んで期待して食している  
2)一人暮らしの人、男性、高齢者は助かるとの感想  
3)愛さんは伝道・宣教・信仰生活の上で大切な (中島司祭の言葉)



# 5年後の夢

## 3. 高齢者が元気な教会

高齢者が 行っている 役割	<ul style="list-style-type: none"><li>① 祭壇奉仕…聖餐式の準備・後片付け</li><li>② 聖書朗読</li><li>③ 聖書朗読</li><li>④ アルファコース出席</li><li>⑤ 食事作り 愛餐の後片付け</li><li>⑥ 教会の掃除</li></ul>
高齢者の ための対策	<ul style="list-style-type: none"><li>① 教会玄関に小さな腰掛スペースで履物の着脱を大なう</li><li>② 洋式トイレの設置・ウォーマーをシュレット3台うち1台は車いす対応</li><li>③ 道路から教会玄関までの段差解消と手すり設置</li><li>④ ひとり暮らしの方中心に、愛さんを夕食として提供</li><li>⑤ 有志による教会への送迎(対象者6名 送迎奉仕4名)</li></ul>
教会に来ら れない方へ の対応	<ul style="list-style-type: none"><li>① 毎回、週報に記載し代祷時に祈る</li><li>② 訪問(司祭夫妻+信徒 司祭夫妻 信徒)</li><li>③ 週報や他の書類を郵送するときにお手紙を添える</li><li>④ 電話対応: 本人より教会信徒宅への複数回電話あり</li></ul>

## 5年後の夢 4. 課題として

1. 教会への送迎時の事故
2. 認知症状への対応  
物忘れ・複数回の電話・妄想など  
「認知症の症状である」ということは理解できるが、反応が個々まちまちである

## 5年後の夢 5. 対応策として

1. 高齢者の特徴を理解する
2. 「認知症」という病気を理解する
3. 上記について教会内で話し合いや学習を行い対策を考える
4. 資料参照

# 資料No.1

## スピリチュアリティ (spirituality)

### 1. WHO（世界保健機関）による健康の定義

「完全な身体的・精神的および社会的にウェルビーイングな状態であり、単に疾病または病弱の存在しないことではない」

2. 1998年に上記の定義に、スピリチュアリティを追加することが検討されたが保留になった。これを機にスピリチュアリティへの関心が高まった。

### 3. わが国での訳語と意義

①「靈性」「靈的」「普遍的体質」

②末期がんやエイズの人たちの、身体的苦痛・不安・孤独・失望  
疎外感など

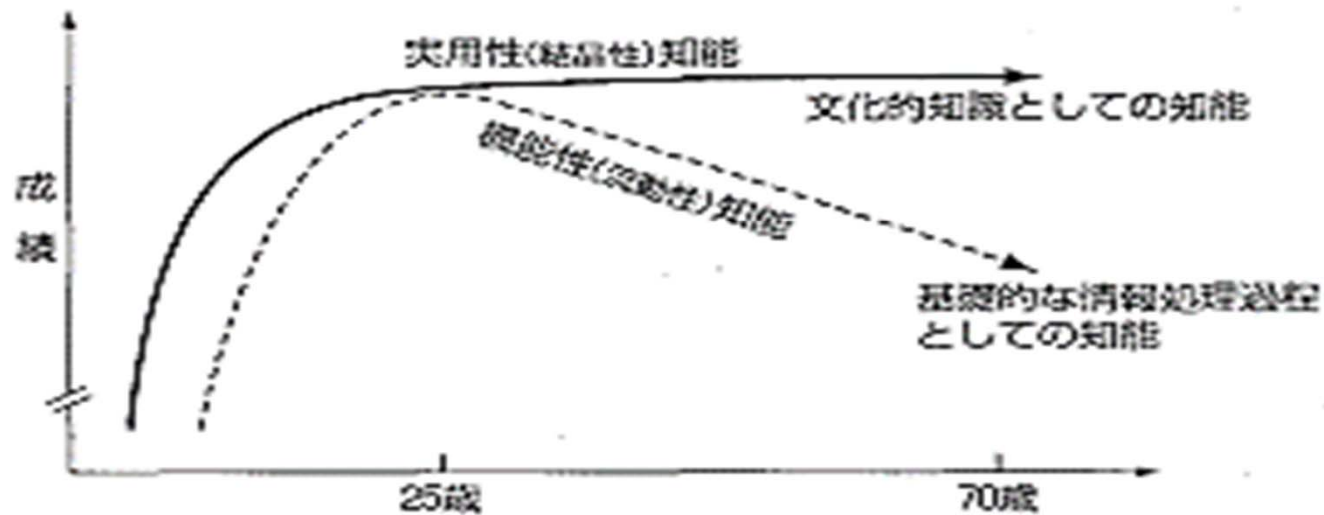
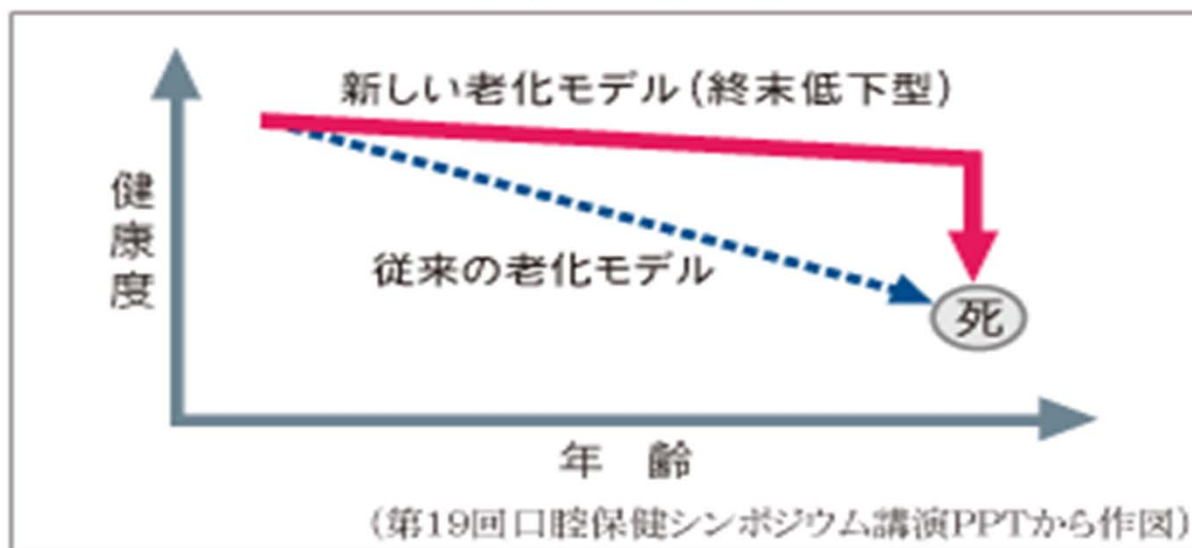
### 4. スピリチュアルケア（全人的ケア）

①上記の苦痛に対するケア

②治癒しない老化や障がいに対するケア

# 資料No.2

## 老化のモデル



知能の2つの構成要素における生涯発達

出所: Baltes et al., 1998

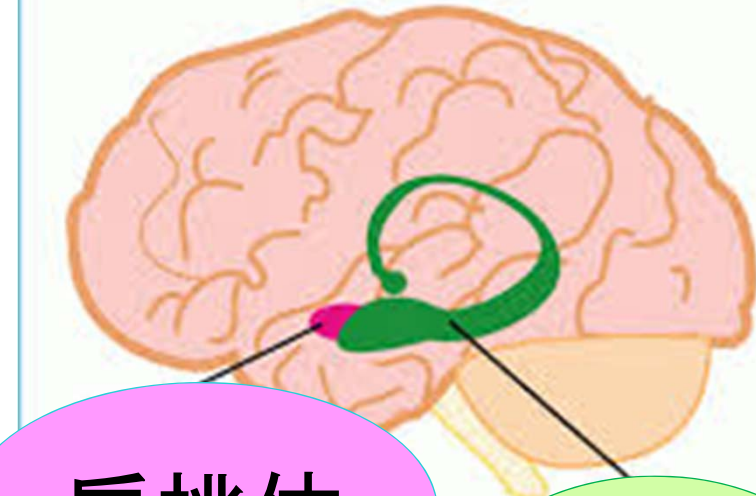
# 扁桃体を使った記憶が**関係性**を作る

扁桃体が活発に働くと  
記憶は定着しやすい

海馬は「**出来事**」を  
記憶する

扁桃体は「**感情**」で  
記憶を助ける

**良い刺激 = 良いケア**



扁桃体

海馬

周辺症状の出現の大小は  
介護者の態度に比例すると  
言われている

**注**

拒否・否定 : 症状大

寄り添う : 症状小

# 認知症の中核症状とBPSD (行動心理症状)

資料No.4

— 増悪をまねく多様な要因の関与 —

中核症状

周辺症状

BPSD

脳の器質的変化

記憶障害  
(短期・レコード記憶)  
見当識障害  
(時間・季節・場所・人)  
失認 (目で見えていても認識できない)  
失行 (運動障害がなくても実行できない)  
失語 (言いたくても言葉が出てこない・言い間違える)  
実行機能の障害  
(順序立ててできない)  
理解力・判断力の低下

①心理症状  
不安・焦燥・妄想  
抑うつ・心気  
不機嫌・興奮  
攻撃的・幻覚  
②行動  
多動・繰り返し  
徘徊・異食  
過食・拒食  
引きこもり

破局反応  
パニック  
不穏  
せん妄  
大声  
乱暴  
破壊行為  
自傷行為

増悪因子

- 身体的要因 : 基礎疾患や体調、水・電解質の異常、便秘、発熱、薬の副作用等
- 心理社会的要因 : 不安、孤独、過度のストレス、無為、プライドの失墜等
- 環境的要因 : 不適切な環境刺激 (人・音、光、陰、風、空間の広がりや圧迫)